

ウクライナ国民に対する支援活動を報告する
河田理事会=中区栄1の伏見ライフプラザで



ウクライナ支援を報告

中区のNPO 募金1000万円 医薬品などに

チェルノブイリ原発事故の被災地支援を目的に発足し、ロシアの侵攻にも苦しむウクライナ国民への支援を続けるNPO法人「チェルノブイリ救援・中部」(中区)が十一日、中区栄一の伏見ライフプラザで、活動の報告会を開いた。

侵攻が始まった二月二十四日以降、一般市民らから集めた支援金計約一千万円を三回に分け、ウクライナ・ジトーミルの非政府組織(NGO)などへ贈り、主に医薬品の購入に充ててもらったことを説明。理事の河田昌東さん(ハニニ東区)が、今後の活動について「できれば一刻も早く緊急支援から復興支援に移りた

い」と語った。

別の理事戸村京子さん(七三)東浦町は報告会后、「教育を受けられない期間があつた子どもたちの支援も必要だ」と話した。

支援金は今後も募る。振

込先は「ウクライナ救援基金」三菱UFJ銀行 名古屋営業部 普通6949211へ。問い合わせは、NPOの事務所052(228)6813へ。(軍司歩人)